

支援センター部 令和3年度活動状況

令和4年3月31日
支援センター部

1 外部対応

外部支援相談等の活動状況

(R4.2.10 現在)

教育相談					地域連携	研修支援	計
幼・保等	小学校	中学校	高等学校	保護者			
18	11	7	5	0	33	8	82

(1) 教育相談等

ア 相談内容

相談件数は今後の予定を入れても昨年よりやや減少した。コロナウイルスの影響により中止、延期になった相談が複数件ある。いずれも困り感をもった園児、児童生徒への指導・支援についての相談が多く、行動観察とカンファレンスで対応したケースが多い。就学に関する相談依頼も増加した。

イ 特別支援学校継続型訪問支援

昨年度に引き続き、地域の7校・園について年2～3回の継続した訪問支援を行った。

(稲瀬わかば園、小山東幼稚園、六原幼稚園、水沢小学校、若柳小学校、江刺東中学校、江刺南中学校)

ウ 巡回訪問

金ヶ崎町教育委員会からの依頼を受け、関係機関と幼稚園や保育園への巡回訪問を行った。

(2) 地域連携

ア 就学支援委員会及び地域就学支援専門委員会議への協力

- ・ 奥州市 (前沢・衣川、胆沢、江刺、水沢の各地域)、金ヶ崎町
- ・ 就学支援アドバイザーとして中村副校長が対応

イ 自立支援協議会療育部会 (奥州市、金ヶ崎町) への協力

ウ その他

岩手県立療育センター関係者ミーティングへの出席

中部・県南地区特別支援教育コーディネーター連絡会の出席

特別支援教育サポーター養成講座担当校。8講座開講した。希望者多数有り。

エ ホームページの活用

活用しやすいように相談個表をアップ

各研修会等の案内・実施の様子などの情報発信

(3) 研修支援

ア 夏季学習会兼特別支援教育担当ステップアップ研修講座Ⅱ「⑩公開講座」

- ・ 本校菅原慶子指導教諭による「地域で豊かに暮らすために～特別支援教育ができること～」についての講演

イ 特別支援教育担当ステップアップ研修講座Ⅱ「⑦公開授業研究会」

- ・ 中学部作業学習の授業公開と研究会を開催

ウ 奥州市教育委員会、関係機関からの研修会等の講師依頼に対応

2 校内支援

(1) 支援会議

指導支援に関わる困難ケースや、学部を越えた関係者や外部関係機関との連携が必要なケースに関して、情報交換会や支援会議・ケース会議を行った。校外から出席の依頼を受け参加したケース会議もあった。

(2) スクールカウンセラー配置事業

カウンセリング年間7回

中学部生徒4名 職員2名

高等部生徒42名 職員13名 が相談

(3) ボランティア活用

7月、10～1月に実施した。コロナウイルス感染拡大防止のため、8～9月、2月は中止した。

(4) サービス事業所等との連絡会

・児童生徒が利用している放課後等デーサービス事業所との連絡会を開催

・16事業所16名の参加

・学校事業所それぞれの状況について情報交換をし、登下校時の対応や災害時の連絡方法などの確認ができ、連携が深まった。今後も継続。

(5) 専門性向上研修会

事例検討会を含め、年間8回実施した。来年度の研修内容についての要望も多く寄せられている。次年度も継続する。

3 令和3年度交流籍を活用した交流及び共同学習実施状況

「いわて特別支援教育推進プラン」に基づき、特別支援学校に在籍する児童生徒とその居住地にある小中学校との「交流籍を活用した交流及び共同学習」実施。地域とのつながりを保ち、地域で継続した支援ができるよう市町教育委員会も関わりながら推進している。(各校1～2回)

<交流籍申請者37名 実施した児童23名/34名:67% 生徒数14名/28名:50%>

○前沢小学校 水沢小学校 常盤小学校 水沢南小学校 羽田小学校 南都田小学校
広瀬小学校 胆沢第一小学校 飯豊小学校 計9校

○水沢中学校 東水沢中学校 水沢南中学校 江刺第一中学校 胆沢中学校
金ヶ崎中学校 平泉中学校 千厩中学校 紫波第三中学校 計9校

4 来年度に向けて

(1) 今後もしできる限り要請に対応する。

(2) 関係機関との連携を深めていくことで、特別支援教育の理解・啓発を図る。

(3) 校内の人的資源を有効に活用して対応することで、地域のニーズに応えるとともに、校内の専門性向上につなげる。